



①カボチャからタネを取る。
カボチャの種類、大きさによってタネの個数も違えば、出来も違います。できるだけ大きくて表面のきれいなタネを選びます。

②洗って干し、薄皮を除去します。
表面はすぐに乾きますので、薄皮をはがします。内部はまだ乾燥するので、容器のふたを開けた状態で保管します。

③ヒートンを用意します。
一番小さいサイズから2番目のサイズが適当です。100均の根付けヒモを通せます。20個入り300円程度です。真鍮を選びます。



④ハサミで頭の方を少し切りヒートンを入れる。
大きく切り過ぎないようにします。ヒートンもねじ込み過ぎないようにします。力を込めてねじ込むとタネが割れます。

⑤根付けヒモを通します。



⑥絵を描きます。

上の「マッキー極細黒」で輪郭を描きます。タネが薄茶色なので、輪郭線は必要です。できるだけデフォルメして描きます。最初の頃は、「マッキー極細」で十分です。慣れたら、「油性」のペンを中心に使うといいです。白色のペンがポイントとなります。

⑦できたら乾燥させます。

太陽光で数時間、乾燥させます。

⑧表面を保護します。

擦れて塗料がはげるので、表面を保護します。油性のペンだけ使った場合は、透明ニスを使って表面に塗ります。

⑨UVレジンを塗ります。

水性のペンを使った場合、光沢を出したい立体感を出したい場合は、UVレジンを塗ります。100均で110円/5ccです。1本で10個以上に使えます。



⑩完成です。

タネが長さ2cm程度、根付けヒモが7cmあります。

⑪根付けヒモについて

100均で110円で3本なのですが、PNPのクラフトならともかく、PNPの雨プロなどでは高く使えません。少し太めの糸を購入して、ミサンガを作るのがいいと思います。3本組では細いので4本組にしたいのですが、練習に時間がかかります。

⑫マッキー極細について

昨年、クラブで「マッキー極細5本組」を8セット買いました。クラフトで使うときは、黒が必要です。これも昨年買ったのですが、他の用途に使ってしまいました。110円/本です。

⑬鳥の絵

図鑑を見ながらデフォルメして描いて、15種類は描けそうです。山野草はタネには難しいです。